

# パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2010年7月1日

82号



ミンガグアス市 市長、環境担当官、校長とともに (6月14日、植樹活動をする学校校舎前にて)

六月一三日の夜、アスンションからシユウダ・デル・エステ市にバスで到着し、市内のホテルに宿泊しました。十四日、朝早く、南北米の育苗所を管理するベニグノさんが迎えに来てくれ、彼が涉外をしてくれていたミンガグアス市の市長に会いに行きました。市はエステ市から二十五kmほど離れた所にあり、十万の人口で学校は九十近くあるとのことです。今年、第十回の青年奉仕隊はミンガグアス市にて活動することになります。

市長は三十八歳で若く、献身的な方で今回の日本から来る青年奉仕隊には全面的に応援し、準備をしてくれることになりました。今回、植林をする学校にも一緒に行ってください、校長にも紹介をしてくださいました。その学校は日本の援助で建てられており、校長も大歓迎の様子でした。(学校前で写真、上記)

市長とは今回の青年奉仕隊の件だけでなく、今回の私のパラグアイ訪問の目的の一つであつた来年のプロジェクトである森の再生についても話し合いをしました。

パラグアイは国土の九十七%が私有地で公的な場所への森の再生は簡単に土地が見つからず、一か所に森林を再生するより、植林で今一番必要とされているのは川岸に樹を植えて川に土石が流れるのを防ぐことであるとの市長から川岸の植林をお願いしたいとの要請を受けました。川は長く多くの植林が必要であるとのことでした。植林の要請の書類を作り、市が日本の地球の緑を守る会とパラグアイの南北米財團に六月中に作成し、送付すると市長が約束してくれました。植林をする場所の地図も入れ、具体的な要請書を作成するとのことでした。市長に会った後、市会議員にもその趣旨を説明して来ました。

パラグアイの植林プロジェクトを推進するため、エステ市のがベニグノ氏が管理している南北米財團の育苗所の土地の購入も日本の会員の支援で今日済ませました。土地は大きくなありませんが(十六m×三十二m)十分、2万本の苗木を育てることが出来ます。

今年の青年奉仕隊の時、必要な5000本は準備しております。

(柴沼記)





バイアネグロ市長と柴沼事務局長

青年奉仕隊が植樹を行う  
メイン道路に立つ市長

柴沼南北米開発協会事務局長は五月十八日から六月十八日まで八月二五日から出発する第十回国際協力青年奉仕隊に先駆け、青年奉仕隊の活動が十分、その使命を果たすことが出来るよう、準備のために現地を訪問して関係者に会い、計画を話し合って来ました。

始めにパラグアイ国、チャコ地方のボリビアの国境に近いインディアンの村（下の写真、カトレセ マジョ村、村民百五十名）を訪問し、学校の副校長と話し合いました。マジョ村では五年前に南北米財団の支援で建てられた小学校の校庭の植樹と五年が経ち、はげて来た学校の外壁と教室内の壁のペンキ塗りを行います。それとともにマジョ村と隣りのバイアネグロ市に新たな道路が七月に出来る事になりました。マジョ村での奉仕の後、隣りのバイアネグロ市（人口千名）市長に会い、バイアネグロ市での活動を話し合いました。

市長は彼の市の範囲にあるエスペランサ村、ディアナ村、マジョ村での南北米の活動を見て、とても感銘しており、第十回国際協力青年奉仕隊の市への訪問を心待ちにしています。バイアネグロ市では市の中学校の校庭と市庁舎の裏の敷地への植樹、そして上の写真にあるように市からディアナ村、マジョ村へ通ずる新しい道路への植樹を行うことになりました。

チヤコ地方に加え昨年から行つた東部、シユーダデルエステ市の隣りにあるミンダ グアス市（人口十万人）に行きました。その市は昨年、協力してくれたベニグノ氏の故郷で、すでに彼が市長と議会に働きかけてくれていたお陰でロメロ市長が歓迎してくれ、環境担当のホセフイース女史とともに計画を立てました。市は九十の学校があり、青年奉仕隊が行く日に市の学校の学生とともに植林活動をすることがあります。ベニグノ氏がエステ市に拓いた南北米財団の育苗所の責任者で市で行う時に必要な苗木、五千本を八月の終わりまでに、育苗所で育ててくれる事になります。

ロメロ市長とは青年奉仕隊の活動だけでなく、来年には十万本の植林を行うことも計画して行くことを話し合いました。

（柴沼報告）



## 神山会長レダ訪問

すこい教仕剪た植市長神写下  
るるえ方定樹林君が山真記  
でとてをののしに古会はの

アメリカ在住の神山会長が八ヶ月ぶり、レダに一週間ほど滞在し、レダで働くボランティアメンバーを指導し、また今後のレダ開発の方向性について話し合いました。特に最近、レダに赴任した三人の青年ボランティア隊員に期待し、指導をして行かれました。

五ヶ月前に到着した古市君、そして五月に到着したアメリカ在住の武藤君、日本からの平野君がこれから大きな働きをすることでしょう。古市君は既に六ヶ月近くになり、現地のインディヒナの労働者とも若さゆえに自然と交流が進み、スペイン語も忙しい農場での仕事の合間に、覚え、すでにスペイン語での交流が進んでいます。

現地、活動の責任者である中田先生は青年達は吸収が早く、また意欲も体力もあるので今後のレダ開発の中核になって欲しいと期待を語つておりました。



上記の写真は伊達農業担当員が武藤君と農場で活動中、左記の写真は農業の成功に欠かせない豊かな堆肥作りを挑戦中



左から平野君、古市君、武藤君



一階は台所、食堂、食品保管所、そしてスタッフの会議、事務所、二階はゲストルームでツインの部屋が四部屋、家族用ルーム（ベット数四つ、応接セット付き）が二部屋、三階はツインの部屋三つと家族ルームが二部屋にもっとも経過の良い場所にサロンを作ります。

最近、アメリカから希少動物保護の団体の専門家がレダを訪れ、レダにはティイグレ（タイガーカバ）を始めとする希少な動物が多数、生息するとのことで、今後のエコツアーレースの可能性は非常に大きいとの事でした。

また、支流を中心とするレダの景観は、パラグアイのどの地方でも見ることが出来ない素晴らしい環境であり、またレダで現在ある設備も誰が来ても十分、満足するとの評価でした。

神山会長はレダの中で今まで三年を超える長い間、建設が中断していた三階建の建物を特別なVIPを招待することのできる基準にし、多くの国の指導者がレダを訪問し、神様の創造された自然とともに共生できる道を拓く、教育センターにしたいと左記のような完成図を元に建設の再開を指示されました。

何故、今、地球に樹を植えなければならぬか?

### 三回講座シリーズ

特別集会案内(地球の緑を守る会)

#### 環境セミナー講義

(第一講座)

《環境問題の歴史と現状》

★国内:

一九六〇年代

「公害の時代」

一九七〇年代

「公害から自然破壊」

一九八〇年代

「温暖化登場」

一九九〇年代

「リサイクル法登場」

二〇〇〇年代

「健康問題と温暖化」

二〇一〇年代

「成長の限界」

★世界:

一九六二年「レイチエル・カーソンの『沈黙の春』出版」一九七二年

「ローマクラブ報告書

一九八二年「地球環境サミット  
(リオデジャネイロ)」

一九九七年「京都会議(第二回地球  
温暖化防止条約締約国会議)」

〔第一講座〕  
《環境問題を解くキーワード解説》

★「地球温暖化とIPCC」

★「多様性の劣化と種の絶滅」

★「CO<sub>2</sub>削減と  
カーボン・カーネートラル」

★「CO<sub>2</sub>排出権取引」など  
場所: 溝の口、大山会館

日時: 七月十一日 午後二時四時

参加費: 千円(資料代含む)  
八月 九月 [申し込みは事務局に]

## 第12回ピースライフセミナーへの招待

風薫る春の息吹に包まれる季節を迎えました。いかがお過ごしでしょうか。

世界に向かうべき私達自身あるいは私達の家庭がどのような方向性、理念を持って様々な課題を克服していくべきか、直面している問題だと思います。

私達は今こそ、「価値ある生き方」「真実な生き方」を深く知って行動できるようにしたいものです。

第12回ピースライフセミナーで「自分の人生」「世界の問題」「世界の環境問題」を見つめなおしてみませんか。

新しい自分を発見し、希望ある未来を実現したいと願われる皆様のピースライフセミナーへのご参加を心からお待ちしております。

☆開催日時 平成22年7月24日(土)~25日(日)

☆開催場所 川崎市民プラザ2Fセミナールーム

詳しくは事務局に連絡ください

## 第10回国際協力青年奉仕隊支援のお願い

支援はお金だけでなく、未使用の切手、はがき印紙でも  
支援の大きな助けになります。

事務局の口座か事務局へ

今年はマヨ村とバイアネグロ市そして植樹活動と学校の修復をする計画です。



### 南北米福地開発

#### 協会会員の募集

南米、パラグアイ、バントナ

南北地域へのエコツアーナ

ならびに植林活動を通じて

生態系の維持と強化を促進し、

その地域をモデルとし、

世界に環境保護の大

切さを訴えています。

会費は月五〇〇円、毎月、  
パンタナール通信を送ります。

また、各種のセミナー、エコツアーエ  
等の案内をいたします。



インディヒナ村と庭のチバトの花

南北米福地開発協会 事務局

〒二一三一〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三一十一十五

電話 ○四四一八二九一二八二一

F a x

八二九一二八二〇

会費納入

一〇一八〇一七七六八〇四七一

郵便口座

岩崎ビル四F  
柴沼邦彦

代表

柴沼邦彦

E-MAIL

office@asd-nsa.jp

ホームページ

<http://www.asd-nsa.jp>

地球家族として  
自然を守りましょう